

平成23年度 事業計画について

平成23年3月1日

東日本電信電話株式会社

平成23年度事業計画の基本的考え方

- 次世代ネットワーク(NGN)を活用した新しいサービス・商品の提供ならびにお客様にとって“使いやすい”新しい料金メニューの提供等を通じて、ブロードバンド・ユビキタス環境の充実と光サービスの利用層拡大に努め、豊かな社会の実現や、その持続的な発展に貢献していく。
- 厳しい経営環境の中、光アクセスのより一層の拡大・利活用促進を進め、ブロードバンドネットワーク環境の更なる高度化と普及を実現していく一方、一層のお客様サービスの向上を図るとともに、更なる経営の効率化を図り、経営基盤の安定・強化と、将来にわたっての安定した事業の発展を期し、これら施策の成果をお客様、地域社会、更には持株会社を通じてNTT株主の皆様還元できるように努めていく。

収支計画

(単位:億円)

	H22	H22.11.9公表値 からの修正額	H23	対前年増減
	業績予想修正		計画	
営業収益	19,600	+150	19,100	▲500
音声+IP関連収入	14,780	0	14,820	+40
音声伝送収入	7,390	0	6,500	▲890
IP関連収入	7,390	0	8,320	+930
その他(専用・附帯等)	4,820	+150	4,280	▲540
営業費用	18,850	+50	18,300	▲550
人件費	1,160	0	1,120	▲40
経費	12,450	+70	12,070	▲380
減価償却費等	5,240	▲20	5,110	▲130
営業利益	750	+100	800	+50
経常利益	920	+70	950	+30

サービス計画・フレッツ光ARPU・設備投資計画

■サービス計画（純増数）

（単位：万契約）

項目	H22	H22.11.9公表値 からの修正値	H23	対前年増減
	業績予想修正		計画	
フレッツ光	105	▲20	125	+20
固定電話（加入電話+ISDN）※	▲180	+5	▲190	▲10

※INSネット1500はINSネット64(10倍)換算した数値

■フレッツ光ARPU

（単位：円）

項目	H22	H22.11.9公表値 からの修正値	H23	対前年増減
	業績予想修正		計画	
フレッツ光ARPU	5,880	▲10	5,980	+100
基本利用料	4,310	+10	4,290	▲20
付加サービス	1,570	▲20	1,690	+120

■設備投資計画

（単位：億円）

項目	H22	H22.11.9公表値 からの修正額	H23	対前年増減
	業績予想修正		計画	
設備投資額	4,200	▲100	4,100	▲100
（再）アクセス網光化投資	約1,800	▲100	約1,700	▲100

本資料及び本説明会における説明に含まれる予想数値及び将来の見通しに関する記述・言明は、現在当社の経営陣が入手している情報に基づいて行った判断・評価・事実認識・方針の策定等に基づいてなされ、もしくは算定されています。

また、過去に確定し正確に認識された事実以外に、将来の予想及びその記述を行うために不可欠となる一定の前提（仮定）を用いてなされ、もしくは算定したものです。

将来の予測及び将来の見通しに関する記述・言明に本質的に内在する不確定性・不確実性及び今後の事業運営や内外の経済、証券市場その他の状況変化等による変動可能性に照らし、現実の業績の数値、結果、パフォーマンス及び成果は、本資料及び本説明会における説明に含まれる予想数値及び将来の見通しに関する記述・言明と異なる可能性があります。